

MY HOSPITAL

まい ほすびたる



2025 エンゼルロード TOKIHANATARETE

松井紀代美 画

おとなと子どもの健康と心の交流に



JA新潟厚生連
糸魚川総合病院

臓腑・胆道センター 富山大学附属病院
臓腑・胆道センターサテライト

健診センター すこやか

訪問看護ステーション いといがわ

糸魚川総合病院地域包括支援センター

糸魚川総合病院居宅介護支援事業所

<http://www.itoigawa-hp.jp/>

新春



糸魚川市長

米 田 徹

新年のご挨拶

令和7年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、日頃から地域医療の確保と提供に特段のご尽力を賜り、山岸病院長をはじめ、病院関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

さて、近年の地域医療を取り巻く環境は、少子高齢社会、過疎化の加速に伴う医療人材不足や患者数の減少に加え、ウクライナ情勢および円安による原油・資材高騰などの影響もあり、極めて厳しい状況が続いております。

このような中、昨年7月にJA新潟厚生連から、「今後の経営状況の悪化が見込まれ、経営改革を進めなければ病院事業の存続が困難になる恐れがある」と公表があり、現在、貴院では経営の見直しや効率化など、経営改善に向けた取組が進められているところであります。

市といたしましては、救急患者対応や専門的治療、地域医療を支える中心的役割など、貴院が提供する医療機能は、市民の命を守るために欠かせない重要な存在であると深く認識しており、決してその機能を弱めることはできないものと捉えております。そのため、医療従事者を確保し診療科の維持を図るべく、国や県との連携を強化しながら、必要となる財政・運営支援に努め、地域に必要な医療提供体制の確保に全力を尽くして参ります。

また、持続可能となる地域医療の実現に向けましても、市医師会との連携に加え、より一層の市民との協力体制も築きながら、市民・医療関係者・行政などが一体となり、地域全体で医療を守っていくことができるよう取組を進めて参ります。

貴院には、本年も、当市の医療・保健・福祉の向上と充実にご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴院関係者の皆様のご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





糸魚川総合病院
病院長

山岸 文範

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年、病院は延べ 73,000 名の入院、127,000 名の外来、そして 2,000 台の救急車を含む 8,000 名の救急患者様の治療を担当してまいりました。学校・妊婦健診、山間部の診療所、施設の担当医に加え健康講演会など文字通り糸魚川の中核病院として活動させていただいており、市民の皆様からの期待をひしと感じております。一方、厚生連全体の大きな経営不振が表明されて

以来、大変な心配をおかけしております。

あらためて私がこの事態にどう取り組んでいるのか、どうしたいのかお伝えしたいと思います。

コロナ後の今年、全国の医療機関が赤字を予想する中、私たちは他に先んじて一昨年より数々の経営改革をおこなってまいりました。その結果、3 億円以上の改善を得、この 3 月までの経常収支は黒字を予定するまでになりました。しかし来年度は賞与の回復、電子カルテ化などの費用増多に伴い再び多額の赤字を予定しています。厚生連全体ではさらに厳しく多くの病院が大幅な医療機能縮小を迫られることが予想されます。他に中核となる病院がない糸魚川では機能縮小を想像することは市民の皆様にとっても私たち職員にとっても、大変つらいものがあります。

今後、救急を含めた不採算医療を大きく削減することなしに病院単独で黒字化するのは困難ではあります。それを避けるために私を筆頭に職員、そして厚生連は医療行政をつかさどる糸魚川市、県と協議を行いながら次の世代まで安心できる地域医療を作る努力をおこなっております。

大きな変化の一年になると思いますが、皆様の御理解と応援が力になります。何卒よろしくお願いいたします。



職員が伝える 医療情報



当院の経営(改善)状況について

事務長
栗林 俊悟

JA新潟厚生連の経営問題につきましては、地域の皆様に大変ご心配をお掛けしております。病院経営は人口減少、医療技術の進歩、新薬の開発、物価高騰、人材不足に伴う人件費高騰等により、収益減少、費用増加となっており、全国の大多数の病院が赤字経営に苦しんでいます。

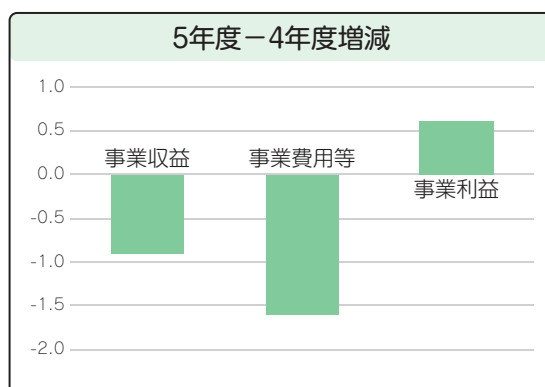
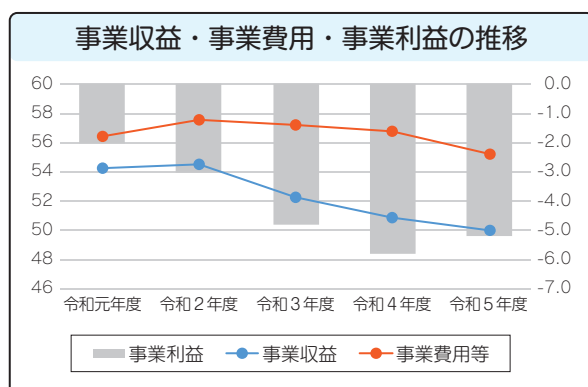
当院の収支も全国の病院と同じように収益減少、費用増加により事業利益は年々悪化していましたが、令和4年度後半より3%プランと命名し、経営改善に取り組んできた結果、令和5年度は令和4年度に比べて事業利益は0.6億円ほど改善しています(表1)。

(単位: 億円)

(表1)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年度－4年度増減
● 事業収益	54.3	54.5	52.3	50.9	50.0	-0.9
● 事業費用等	56.4	57.6	57.2	56.8	55.2	-1.6
■ 事業利益	-2.0	-3.0	-4.8	-5.8	-5.2	0.6

※小数点第2位以下切捨て。

※事業費用等は特殊要因による費用を除く。



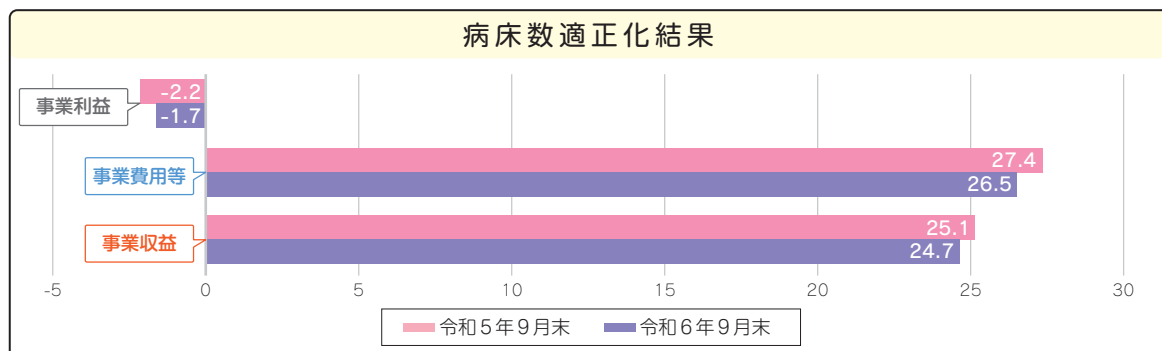
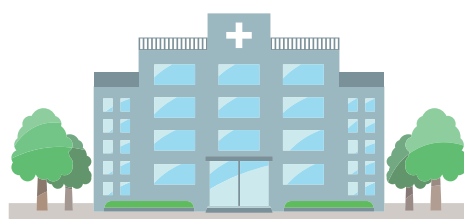
また、令和6年4月には患者の減少や医療スタッフ不足への対応、そして改善対策として病床数を261床から199床に適正化し、更なる経営改善に取り組んでおり、年間では1億円以上の改善になる見込みです。(表2)

(単位: 億円)

(表2)	令和5年9月末	令和6年9月末	5年度－4年度増減
事業収益	25.1	24.7	-0.4
事業費用等	27.4	26.5	-0.9
事業利益	-2.2	-1.7	0.5

※小数点第2位以下切捨て。

※事業費用等は特殊要因による費用を除く。

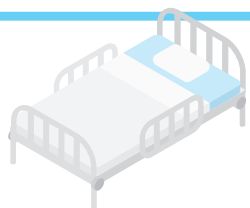


引き続き経営改善に取り組み、当地域の中核病院としての役割を果たせるよう職員一丸となって努力していきますので、皆様のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



Be-CM (ビーかむ) のご紹介

地域連携支援部チーフマネージャー
室橋 純子



「Be-CM (ビーかむ)」とは、「ベッド中央管理」の愛称です。

当院の入院病棟には、急性期の治療を主に行う急性期病棟と、リハビリや退院の準備をする地域包括ケア病棟の2つの機能があります。Be-CMでは、患者様の病状に適した場所で治療や療養ができるよう、従来の診療科別の病棟にこだわらず、入院病棟を決定しています。また、入院中も病状や回復過程において、病棟内の移動や、他病棟への移動も患者様のご理解とご協力のもと行っています。患者様の治療や療養場所として適切かを毎日、医師、看護師、リハビリ、ソーシャルワーカー、事務員の多職種で話し合いをしています。

また、患者様やご家族が不安を感じることなく安心して入院生活が過ごせるよう、入院前支援や、入院早期から退院を見据えた退院支援にも力を入れています。糸魚川市唯一の総合病院として、地域医療を守るためには、199床という限られた病床をいかに活用するか、病院だけではなく、市内介護施設や在宅医療・介護チームとも手を組み取り組んでいきたいと思っています。

地域とともに ①

10月19日(土) 災害拠点病院訓練



1月1日の能登半島地震の経験を踏まえた災害訓練を実施しました。津波警報が発令され、地震被害により病院

内は停電しエレベーターは使用できない状況を想定しました。災害本部の立ち上げ、全職員の安否確認、病院被害の把握、傷病者受け入れ態勢の確立等、模擬患者を多数用いた傷病者受け入れ訓練を消防の方々にも協力いただき、トリアージ、治療、搬送の確認の訓練となりました。訓練開始時は情報の整理、役割分担に戸惑い、混乱した状況もありましたが、次第に連携がとれるようになりました。実際に災害が起きた際に当院の診療が維持できるよう日々準備をしていかなければと再認識しました。

DMAT 隊長 内科部長 中田 直克



11月3日(日) JA 農業祭



健康展として参加させて頂きました。今回は前年度と会場が変わったこともあり、健康展の内容を変更し、体脂肪測定のみの実施としました。2時間で44名の方にお越しいただきました。自分の体の体脂肪や筋肉

量を改めて知ることができ、「今後の生活改善の参考にします」とおっしゃる方が多かったです。普段から農作業を行っている方や体操教室に通い体を動かす習慣のある方は筋肉量が標準以上と判定される方が多く、普段の身体活動や運動がやはり大切なのだと感じることができました。来年も多くの方にお越しいただければと思います。

健診センター 保健師 久保田 薫



地域とともに②

10月26日(土) 健康講演会



「高齢期の虫歯、歯周病予防について」の講演を当院 歯科佐藤一夫部長が行いました。

53名の方にご参加いただき、講演後も活発にご質問等いただきました。また、当院理学療法士より、日頃からできる介護予防体操を行いました。ご参加いただいた皆様から積極的に取り組んでいただき有意義な健康講演会となりました。

健診事務部長 松田 美保子



いとびょう 情報

10月9日(水) キャリアフェスティバルいといがわ 2024



市内の中学3年生を対象に開催され、看護師2名、診療放射線技師1名、理学療法士1名で参加しました。病院で働く職種の紹介、それぞれの仕事の内容ややりがいなど熱意を込めて語りました。熱心に聞いている生徒さんが多かったです。医療職への興味や職業選択のきっかけになれば幸いです。

担当看護師長 池田 昌代

小中学生出前講座



市内5校の小学生を対象に、糸魚川総合病院の仕事と働く仲間を紹介しました。子供たちからは、「仕事をする上でのやりがい」や「仕事で大変なこと」等の質問がありました。私自身、自分の仕事を見つめ直す良い時間となりました。糸魚川の子供たちが一人でも多く医療職に興味をもち、将来一緒に働くことができれば嬉しいです。

担当看護師長 笠原 鮎美

10月10日(木) 第9回糖尿病フェア



世界糖尿病デーは11月ですが、気候の良い10月に行いました。約20名の方にご参加頂き、眼のこと、歯のこと、食事のこと、運動、内科医師の笑いを交えたお話等、有意義な半日でした。糖尿病は、自己管理できる病気です。上手に管理できれば、普通の生活ができます。楽しく続けてほしいので、そのお手伝いができればと思っています。健康診断で指摘されたことはありませんか？気になっている方は、是非来年のフェアに御参加ください。

糖尿病療養指導士 渡辺 幸子

【受付窓口・会計窓口運用変更について】

医事課

令和6年10月より、受付窓口・会計窓口の運用を変更し、現金支払いの方は、会計計算ができるまでイスに座ってお待ちいただくようにいたしました。

変更に伴い、みなさまにはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

また、マイナ保険証につきまして、診察前にマイナンバーカード読み取りをお願いしております。読み取り機は、正面玄関入ってすぐの受付・会計フロアに設置しております。



年を重ねるにつれ、元気でいることのありがたさが身に沁みます。趣味や興味があることに積極的に参加し、日々の生活に少し刺激を受けながら新たな年を過ごしていきたいです。インフルエンザなどの感染症が増える時期になりますので、体調管理には十分配慮してお過ごしください。